

平成24年3月2日

各 位

会社名 株式会社ピーエスシー
代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫
(コード番号: 3649)
問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤
(TEL. 089-947-3388)

新製品のリリースに関するお知らせ

当社は、平成24年4月1日より新製品「RemoteCAP」の販売開始を決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 新製品名

RemoteCAP (リモートキャップ)

2. 新製品の開発背景及び機能内容・特徴

Webアプリケーション(※1)の利便性の認知と様々なインフラの成長に伴い医療システムの世界においても、システムのWebアプリケーション化の流れが本格化してきております。

しかし、実際の現場では、様々なローカルアプリケーション(※2)が診療に利用され、また様々な検査機器やデータ装置がローカルPCに接続されて診療データの管理を行っております。

このため、診療における患者データのスムーズな連携には、様々な院内アプリケーション間の連携が必要不可欠となりますが、Webアプリケーションとローカルアプリケーションの直接的なデータ交換は、ネットワークポリシーやセキュリティ制限により許可されていない(難しい)場合があります。

当社はこの問題を解決し、「Webアプリケーション側からのローカルPCのデータコントロール、Webアプリケーションとローカルシステムとの連携」という問題を解決する新たなソリューションとして「RemoteCAP」をリリースいたします。

RemoteCAPは、上記ネットワークポリシーやセキュリティ制限が掛っているネットワーク・施設環境においても、Webブラウザ上に入力された、または画面に表示されている情報を一つにまとめ、ユーザの処理指示と合わせ、目的とするローカルアプリケーションの実行処理を安全に行う事が可能です(※3)。

上記処理の一連の手順は期限付きの暗号処理で暗号化されたカプセルのイメージで、クライアントPCに対して送られ実行されます。また、RemoteCAPは様々なセキュリティに関する仕組みを実装し、ネットワークの通信経路、ローカルPCでの実行時においても情報漏洩を防止し安全な利用が可能です。

3. 新製品の販売開始時期

新製品「RemoteCAP」は、平成24年4月1日からWeb型電子カルテやEHRソリューションを利用する医療機関を中心に販売開始致します。

なお、導入規模・システム構成等により販売価格が一律ではないため、今後の売上高に対する影響額は現時点では未確定であります。

※医療、ヘルスケア関連以外の利用、販売については、今後検討を進めてまいります。

※1. クラウドシステムに代表される、様々なWEBメールシステムや各種ショッピングサイト、旅行予約サイトの様にデータやデータ処理機能をサーバに置き、ブラウザ画面上から操作を行うアプリケーション。ネットワークを通じてサーバにつながる環境さえあれば、どここのPCからでも同様の処理を行える特徴をもつ。

※2. Webシステムと対照的に、処理やデータ管理が目の前のPC（以下、PC）の中で全て完結する（データはサーバに置くが、処理自体はPCで行うものも含まれる）。
また、PC上で動作する他のローカルアプリケーション同士が連携して行う処理や、PCに接続された各種検査機器のデータ管理に優れた特徴をもつ。

※3. 当該技術について、特許第4917667号を取得しております。

以 上